議　事　録　要　旨

会 議 名 称	令和８年度第１回加古川市総合計画審議会（総括部会）
開 催 日 時	令和８年９月 30 日（水）午後２時から午後３時 20 分まで
開 催 場 所	加古川市役所新館９階　１９１会議室
出　席　者	＜総合計画審議会委員＞ 会長　　岡本　立身 副会長　山本　亜也夫 第１部会部会長　　松田　信樹 第１部会副部会長　藤田　隆司 第２部会部会長　　安枝　英俊 第２部会副部会長　大辻　利紀 ＜加古川市＞ 企画部次長　　依藤　康弘 総務部次長　　車谷　芳秀
会 議 次 第	１　開　会 ２　議　事 （１）総合計画（原案）について 基本目標６　未来へつなぐまち（Ｐ73～77） （２）これまでの審議内容について ①第２回全体会における総論の審議内容について ②各部会における審議内容について （３）その他 ３　閉　会
配 付 資 料	１　次第 ２　基本目標６（「未来へつなぐまち」資料） ３　各部会における審議経過 ４　意見の整理（総論） ５　各部会での意見整理資料（基本目標１～５）
傍聴者の数	４人

審議内容（発言者、発言内容、審議経過等）	
	１　開　会 （委員の出席状況） 　総括部会委員６名全員が出席していることを報告 ２　議　事 （１）総合計画（原案）について 　基本目標６　未来へつなぐまち 　　政策（１）住みたい、住み続けたいまちづくり 　　施策①Well-Being の視点を生かした政策推進（P73）
（事務局）	〈事務局説明〉
（委員）	（意見・質疑応答） 【市民の声を踏まえた施策の具体化について】 ・オープンミーティングでは、子育てや高齢者の移動・生活上の課題など、どのような意見が多く寄せられているのか。 ・市民の Well-Being の向上に向け、オープンミーティング等で寄せられる市民の声を十分に把握し、地域の実情や社会情勢の変化を踏まえながら、具体的な取組として市政に反映していく必要がある。
（事務局）	・オープンミーティングでは、子育て、高齢者の生活、交通、公園利用など、市政全般にわたる幅広い意見が寄せられている。 ・オープンミーティングや地区別行政懇談会など、市民の声を聞く機会を活用し、寄せられた意見をどのように市政へ反映していくかが重要であると考えている。
	施策②シティプロモーションの推進（P74）
（事務局）	〈事務局説明〉
（委員）	（意見・質疑応答） 【市の魅力を生かしたシティプロモーションについて】 ・シティプロモーションでは、何を加古川市の魅力として捉え、どのような取組を行っているのか。 ・かわまちづくりやツーデーマーチ、レガッタなど、本市には様々な魅力があることから、それらを整理し、住むまちとして選ばれるよう、動画なども活用しながら効果的に発信してはどうか。

（事務局）	・観光、自然、歴史・文化に加え、見守りカメラやスマートシティなどの先進的な行政施策についても本市の魅力として発信している。 ・従来のプレスリリースにとどまらず、幅広いメディアへの情報発信や、「かこのちゃん」を活用した親しみやすい情報発信にも取り組んでいる。
（委員）	【まちの魅力発信キャラクター「かこのちゃん」の活用について】 ・「かこのちゃん」について、使用上の制約が多いと活用が広がらず、知名度の向上にもつながりにくいのではないか。より柔軟かつ積極的に活用し、市の魅力発信につなげてはどうか。
（事務局）	・「かこのちゃん」については、商品そのものへの使用には一定の制約があるものの、パッケージへの使用などは可能であり、様々な場面で活用してもらえるよう周知していきたい。 ・キャラクターのイメージを損なわない範囲を見極めながら、さらなる利用促進を図っていきたい。
	政策（２）持続可能な行財政運営 施策①健全な財政運営と効率的・機能的な行政マネジメント（P75）
（事務局）	〈事務局説明〉
	（意見・質疑応答）
（委員）	【中長期的な財政運営と財源確保について】 ・総合計画についても、中長期的な財政見通しや財源の裏付けを意識し、財政面と連動させていく必要があるのではないか。
（委員）	・行政においても、既存の財源だけでなく、外部から新たな財源を確保していく視点が必要ではないか。
（事務局）	・中長期的な財政運営は重要であり、中期財政計画のような具体的な財政見通しについては、総合計画とは別の形で示すことも含め検討している。 ・総合計画は今後５年間の市政の方向性を示すものであり、具体的な財政数値をどこまで盛り込むかは慎重に検討する必要がある。物価高騰などの状況も踏まえ、財政面についても考えていきたい。
	施策②職員力と組織力の向上（P76）
（事務局）	〈事務局説明〉

	（意見・質疑応答） 【AI 活用と組織づくりについて】
（委員）	・AI 等を活用した業務効率化を進めることは重要である。一方で、単に事務処理を効率化するだけでなく、職員一人一人の取組や評価の仕組みが、総合計画が目指すまちづくりの実現につながるものとなっているか確認する必要があるのではないか。
	施策③広域的なまちづくりの推進（P77）
（事務局）	〈事務局説明〉
	（意見・質疑応答） 【広域連携による取組について】
（委員）	・２市２町で設立した共同の電力会社について、電力費の削減効果や今後の供給見込みを確認したい。
（委員）	・神戸空港へのアクセスの良さなど、２市２町それぞれの地域の魅力を生かし、広域で連携したシティプロモーションを進めてはどうか。
（事務局）	・共同の電力会社については、電力供給開始に向けて準備を進めており、既存の電力会社と比較して電力費の削減につながる方向であると認識している。 ・２市２町では、東播臨海広域行政協議会を通じて情報発信に取り組んでおり、近年は首都圏での情報発信も実施している。今後も地域の企業等から情報を得ながら、広域での情報発信を進めていきたい。
	（２）これまでの審議内容について ①第２回全体会における総論の審議内容について
（事務局）	〈事務局説明〉
	（意見・質疑なし）
	②各部会における審議内容について
（委員）	〈第１部会長説明〉
（事務局）	〈第１部会における意見の整理について事務局より報告〉

（委員）	〈第２部会長説明〉
（事務局）	〈第２部会における意見の整理について事務局より報告〉
	（３）その他
（事務局）	〈事務局説明〉
	（質疑なし）
	３　閉会